

「地域に根ざした施設作り」に取り組んで

施設の運営方針として「地域に根ざした施設作り」を掲げ、月一回のペースで、地域の住民や利用者等を対象に事業を各種実施している。実施内容としては、施設の地域交流スペースや各種クラブの開放、地域行事の参加、ボランティア活動などを行っている。また、認知症ケアに関する研修会にも取り組むなど地域における福祉の推進活動に力を入れている。

社会福祉法人 **大阪府社会福祉事業団**

〒560-0083 大阪府豊中市新千里西町2-7-2
TEL：06-6831-7225 / FAX：06-6836-1600 / E-Mail：houjusou@cell.ocn.ne.jp

【法人の概要】

法人設立年：昭和46年3月

経営施設、事業（数）：12施設21事業

経営施設、事業（種別）：

特別養護老人ホーム…7 / 養護老人ホーム…
1 / 軽費老人ホーム…4 / デイサービス…9
／ 居宅介護支援…10 / 訪問介護…8 / 認知症
対応型共同生活介護…2 / 短期入所生活介護
…7 / 福祉用具貸与…1 / 訪問入浴…2 / 地
域包括支援センター…3 / 障害福祉サービ
ス / 地域生活支援事業…4 種別14 / 府・市町
村委託事業…6 種別23

【法人の理念・経営方針】

利用者の意思及び人格を尊重し、その尊厳を守ると共に、自立支援に向けた質の高いサービスの提供を通じて、活力ある高齢者社会及び人権が尊重される社会の実現に寄与することを経営理念とする。

- (1) 経営基盤の安定に向けた取り組みの推進
- (2) 人材の育成と確保
- (3) 介護・生活支援サービスの向上
- (4) 地域社会との連携

実施施設の概要

施設名：高齢者総合福祉施設 豊寿荘

施設種別：特別養護老人ホーム（50名）・軽費老人ホーム（ケアハウス）（100名）短期入所生活介護事業（10名）・デイサービス（30名）・診療所 訪問介護事業・居宅介護支援事業

活動開始年：平成16年10月

活動の頻度・時間：月1～2回、1回当たり2～3時間

活動の対象者：地域の高齢者、住民、利用者、児童、幼児

活動実施の背景、実施にいたった理由

当施設は、昭和45年大阪府立軽費老人ホームとして2番目の施設として開所した。

また、当地域千里ニュータウンは昭和40年代の前半から開発された住宅地であり、高齢化率も現在20%前半から30%前半を示すに至っている。そのような地域ニーズを踏まえながら、平成16年8月～18年3月の2ヵ年で工期を第一期工事（ケアハウス）、第二期工事（特別養護老人ホーム、デイサービスセンター、ショートステイ、診療所）を経て建替えた。

工事期間中は月一回進捗状況の説明会を利用者、地域住民を対象に開催した。また、施設の周りの四つの小学校区の社会福祉協議会及び豊中市社会福祉協議会に対して、新しい施設の運営方針の一つとして「地域に根ざした施設作り」を掲げ「それを達成するためにはどうしたらいいかを検討したいのでご協力願いたい」という依頼をした。各地域から5名、市社協からは、アドバイザーとして1名、設計者、施工者の代表、施設から4名が参加して第一回「地域に根ざした施設作り検討委員会」を平成16年12月に開催し、その後、月一回のペースで、「地域に根ざした施設作り」事業を各種実施している。

実施内容

主な事業実施内容としては、以下の通りである。

- ・施設の地域交流スペースの開放（自治会、老人クラブ、各種ボランティアなど）
- ・各種クラブの開放
- ・給食サービスへの協力
- ・地域行事への参加（敬老祝賀会、文化祭、バザー、夏祭り、クリーンアップ大作戦、ふれあいサロン）
- ・男子ボランティアへの参加（道路、公園の清掃、学童の下校時の見守り、夜警パトロール）
- ・NPO法人・地域FMへの協力・参加
- ・世代間交流、校区社協の運営に参加
- ・介護何でも相談

・共同募金への協力等日常的に地域への参加に加え現在、大阪府パイロット事業の一環で、「認知症ケア研修会」実施している。4つの地域の校区社協役員や、介護者（家族）の会会員や、民生委員等地域で活躍されている方々を対象の「専門コース（6回シリーズ）」（45名参加）と、4地域の一般住民、利用者及びその家族を対象とした「基礎コース（3回シリーズ）」（150名参加）を開講している。「専門コース」の内容は、①社会福祉概論、②地域福祉論、③認知症ケアについて(1)、④介護実習、⑤認知症ケアについて(2)、⑥グループ討議（テーマ：わが町のネットワークは如何にあるべきか）である。「基礎コース」の内容は、①認知症ケアについて、②高齢者の医学的理解、③知って得する諸制度及びグループ討議（テーマ：認知症の方を、地域で如何に支えるか）である。講師には、市社協ソーシャルワーカー、他は、施設職員（施設長、認知症ケア専門士、管理医師、相談員、介護員等）が務めている。

今年の後半には、全市民を対象とした、シンポジウムを予定している。

活動効果

「地域に根ざした施設作り」の各種事業に取り組みを通して

【利用者】

人間関係の輪が広がり、生き生きして明るくなった。また、認知症の問題は、利用者自身が認知症を知り、周りにおられる認知症の利用者を支えていこうとする気運が出来つつある。

【職員】

地域の方との馴染みの関係がより一層深まった。委員会での発言、研修会での講師等、地域から評価を受けているような、緊張感と責任意識を持って仕事に取り組めるようになった。

【地域】

施設への出入りが格段に増えた。取分け研修のグループ討議そして発表は、受講者200名と施設、受講者間の垣根を取り外し地域における新たなネットワークを創った。気楽に施設にこられ、自分たちのプライベートな悩み、地域の抱えている問題等について真剣に話されたりするようになり、問題意識、福祉意識、役割意識が高揚しているように感じている。また、ボランティ

アを希望される方も急増している。地域の皆さんの豊寿荘に対する期待をひしひしと感じている。

今後の課題

「地域に根ざした施設作り」の事業を引き続き続けていくことである。そして、社会資源としての豊寿荘を地域に開放し、あるいは地域に出て行き、地域が抱えている高齢者福祉の問題は勿論のこと、子育て、虐待、閉じこもり、その他制度の狭間で困っている問題等についても取り組み、社会福祉協議会（大阪府、豊中市、校区）、学校、保育所、自治会、NPO、ミニFM、ボランティア団体等と連携し、施設が地域を支え、地域が施設を支える体制を作っていくことが今後の課題である。

主な経費や財源の内訳（年間あたり）

<主な経費>	<概算額>
認知症ケア研修会	¥2,819,300
地域交流事業	¥873,600
<合計>	¥3,692,900

<主な財源>	<概算額>
法人本部負担額	¥819,300
施設負担額	¥633,600
利用者負担額	¥240,000
補助金収入 (補助金事業名：大阪府パイロット事業)	¥2,000,000
<合計>	¥3,692,900

